

課題



**市民会議（ごみ処理基本計画検討市民会議）とは**  
 ごみ処理基本計画の策定は、様々な立場の皆さんが参加する小諸市ごみ処理基本計画検討市民会議（市民会議）で進めています。市民会議は公開で開催されており、市公式ホームページで資料や議事録をご覧いただけます。

- 課題 1** ごみの分別の目的や効果が、市民の皆さんへなかなか伝わっていない！
- 課題 2** 衛生委員さんを支える体制が整っていない！また、地域によってギャップがあるのでは。
- 課題 3** 新ごみ焼却施設が稼働するとごみの分別が悪くなる！

**解決のためには**

- 多くの皆さんへ伝えるには、世代や性別に合わせ、お知らせのつくり方や伝え方を工夫する必要があります。特に女性の目線に立った、細やかな工夫が求められます。
- 衛生委員さんの取り組みを多くの皆さんに知ってもらい、やりがいをもってもらう必要があります。また、身近にごみの減量・分別に詳しい人が増え、衛生委員さんだけに負担がかからないようにすることも求められます。
- 市民、事業者一人一人に意識を持ってもらうことが必要です。また、集積所を積極的に利用してもらうため、改修費用の助成やごみの収集体制の強化など市の関わりを強めていくことが求められます。



**人の輪を広げる活動**

ごみの減量や分別をはじめ、ごみ処理に興味を持ち、地域や市内全域で、行政とともに様々な取り組みを行なう市民・事業者を増やしていく必要があります。

上田市ごみ減量アドバイザー



**活動を支える財源の確保**

区・衛生委員の地域での取り組み、市民による市内全域での活動を支援するため、必要な財源を確保していく必要があります。

碓氷川クリーンセンターの計量棟

より良いごみ処理を目指し、多くの皆さんからご意見をいただきます。

現在、生活環境課では、市民団体の会議や集会などで、直接ご意見を伺っています。日ごろ、市民の皆さんがごみについて思っていることや疑問に感じていることなどを伺うとともに、課題について意見交換させていただきます。



小諸市ごみ処理基本計画を策定しています。

# どうしてごみを分けるの？



現在、小諸市では、ごみ処理基本計画の策定を進めています。ごみ処理基本計画とは、ごみの減量にはじまり、ごみの最終的な処分に至るまで、ごみ処理全般の目標と進め方をまとめたもので、いわば“羅針盤”として活用していくものです。

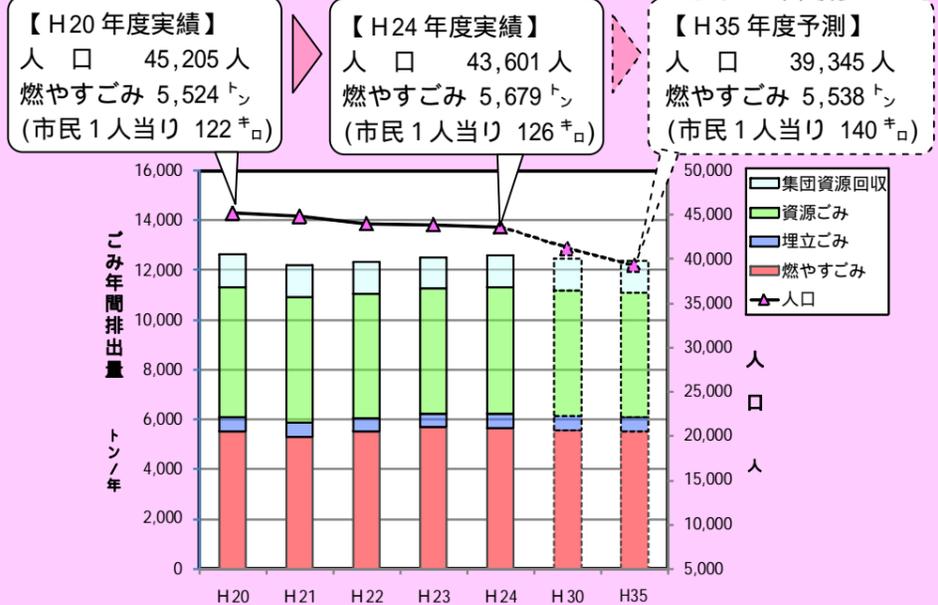
どうしてごみを分けるのか、どうしたらごみをもっと減らせるのか、身近なごみのことを一緒に考えませんか。

お問合せ 小諸市生活環境課 電話 22-1700（内線 218）

## 1 ごみ処理の現状

### 小諸市のごみ量の推移と予測

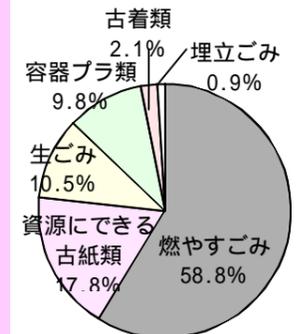
過去5年間のごみ量実績では、燃やすごみと埋立ごみが増えています。これは、核家族化の進行やライフスタイルの変化が原因と考えられます。



すみれ先生のひとくちメモ

### 【燃やすごみの内訳】

平成24年度調査では、燃やすごみのうち、40.2%が資源にできるものでした。



### 【ごみ集積所】

約740箇所 各区の衛生委員さんがすべて管理しています。

### 【ごみの分別数】

13種類 21分別 現在、古着は再使用されています。また、蛍光管・乾電池もリサイクルされています

### ごみの資源化の取り組み

生ごみのたい肥化は、昭和54年から開始しました。最近では平成20年に廃食用油のバイオディーゼル燃料化を始めています。



容器包装プラスチック

除袋  
選別  
破碎  
洗浄  
成形

処理工程



荷台用パレット

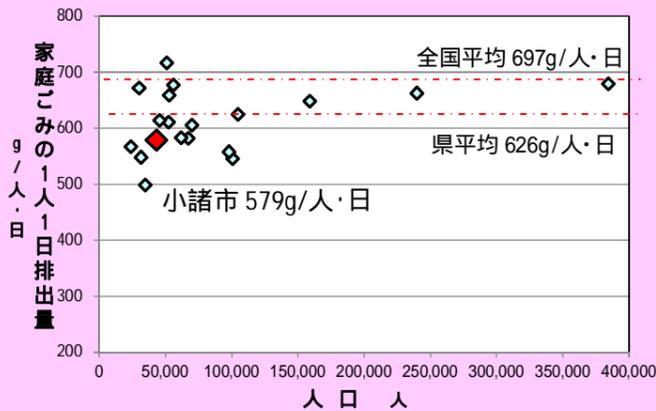
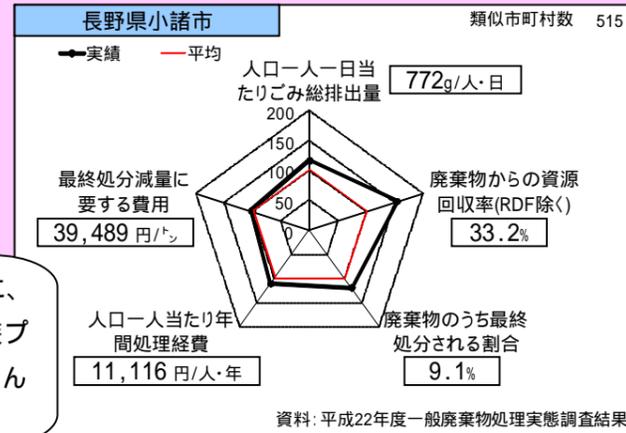
## 2 ごみ処理の特徴

### 全国から見た小諸市の特徴

ごみからの資源回収量が全国トップクラスで、ごみが出る量も少なくなっています。また、ごみ処理に係る費用全体は、全国の平均レベルです。



小諸市では生ごみのほかに、古紙類、古着類や容器包装プラスチック類の分別も進んでいます。

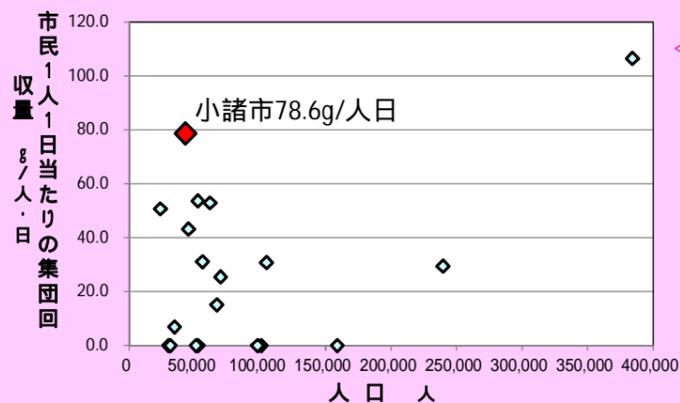
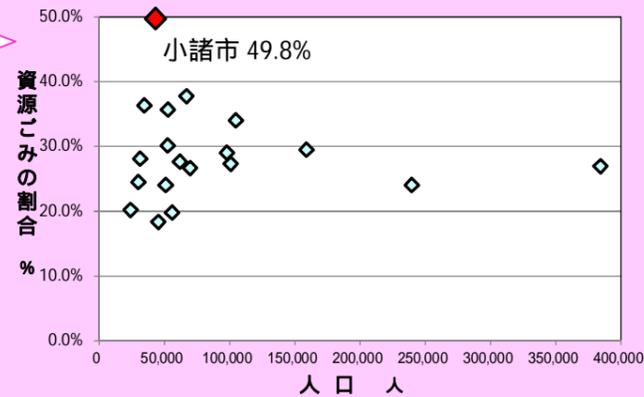


### 県内 19 市中の家庭系のごみ量

家庭から出されるごみの量について、市民1人が1日当たりに出す量で見ると、県内でも小諸市はごみの減量化が進んでいることがわかります。

### 県内 19 市中の資源に分別したごみの量

資源へ分別したごみの割合は、ごみ全体の半分を占めており、県内でもトップレベルとなっています。市民の皆さんの協力をはじめ、衛生委員さんの地道な活動の成果といえます。

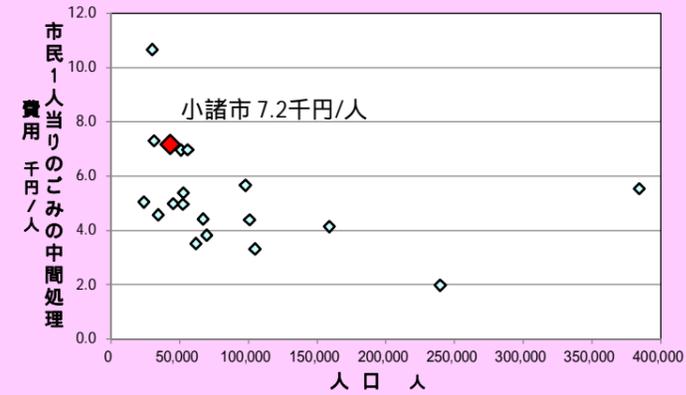


### 県内 19 市中の集団資源回収量

小諸市では集団資源回収も活発に行なわれています。報奨金の単価が、県内では優遇されていることが理由の一つに挙げられます。



## 3 ごみ処理の特徴

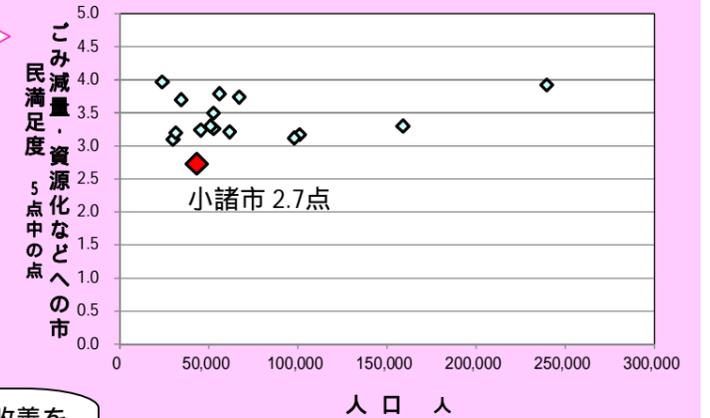


### 県内 19 市中のごみの中間処理経費

ごみの中間処理とは、ごみのリサイクルや焼却など、ごみのかたちを変える処理です。小諸市の中間処理経費は、全国的には平均的ですが、県内では割高となっています。これは他市にはない生ごみのたい肥化と焼却の民間委託が原因と考えられます。

### 県内 19 市中の市民満足度

市のごみへの取り組みに関する市民満足度について、5点を満点として算出しました。その結果、小諸市は県下でも最も満足度が低いことがわかりました。分別が厳しいことに加え、その内容の伝え方に課題があることなどが挙げられます。



厳しい結果ですが、行政は改善を進めていかなければいけません。

### すみれ先生の分別相談所

たとえば・・・

燃やすごみから資源にできる古紙類をすべて分けたらならどうなる？



資源にできるのに燃やされている古紙類  
年間推計 1,010 ト

すべて合わせると  
6,000 万円の利益です。

売却すると...  
900 万円の収入

焼却経費が...  
4,700 万円の節約

焼却灰の経費が...  
470 万円の節約

一番大切なのは・・・

そもそも、ごみをもっと減れば、お金ばかりでなく、環境や資源など地球全体によりやさしくできます。そのためには、市民、事業者1人1人が、自分の出すごみに責任があることを意識することが大切です。

マイバックや店頭回収を積極的に利用してください

